

「西城スポーツ広場売却」、全会一致で付帯決議 12月議会に続いて一般会計予算に修正案。但し否決

3月定例議会は3月27日、上程された全議案を可決し、閉幕しました。

今議会は、経済不況がかってなく深刻さを増す中で市民の暮らし、営業、雇用をどう守るかが問われた議会であり、激しい論戦が行われました。

4名の日本共産党議員団は、上程された新年度一般会計予算などの議案に対して総括質疑を行った（私が登壇）ほか、常任委員会審査においても議員団所属の委員が積極的に質問・提案を繰り広げました。また、一般質問にも全員が登壇し、雇用確保、中小企業支援、学校給食民間委託、介護保険事業計画、信濃町廃棄物最終処分場問題などで市長や教育長に見解を求めました。

議会最終日の27日には、採決に先立ち、各党派代表が討論を行いました。日本共産党議員団からは平良木議員が登壇し、市民に負担を強化する国民健康保険特別会計予算など6議案に対して反対理由をのべました。

各議員の態度 (賛成は○、反対は×)	その他議案					
	一般会計予算修正	国民健康保険特別会計予算	介護保険特別会計予算	後期高齢者特別会計予算	介護保険条例改正	体育施設条例改正
日本共産党	○	×	×	×	×	○
創風クラブ	×	○	○	○	○	○
新政	×	○	○	○	○	○
市政クラブ	○	×	○	○	○	○
毘風	×	○	○	○	○	○
市民クラブ	△	○	○	○	○	○
公明	×	○	○	○	○	○
山岸行則	-	-	-	-	-	-
永島義雄	○	×	○	○	○	×
滝沢一成	○	×	×	○	○	×
中川幹太	○	×	×	○	○	×

△：1名賛成、4名反対

平良木議員が最終日に行った討論の概要は次の通りです。

平成21年度上越市一般会計予算は、金融支援や公共事業の前倒し、雇用への助成金交付等などの緊急経済対策や、子ども医療費助成の拡充・妊婦健診無料回数拡大、大潟町小中学校の給食自校方式化などは評価します。

しかし、その一方で、①総合計画の年度ごとの計画を明らかにせずに予算編成を行ったこと。②非正規切りの実態を十分に把握せず、奨励金などで支援している企業への雇用確保の努力不足。③就学援助制度が現行水準にとどまっていること。④老人福祉費が大幅に削減されていること。⑤西城スポーツ広場を関係住民の合意を得ることなく売却の方針を打ち出したこと。⑥学校給食民間委託を強

（高田の上教大付属小学校近く）の売却問題でした。ここは高田に住む人たちや教育関係者にとっては教育文化都市としてのシンボリックな空間です。関係住民の声を聴かずにことをすすめたことや民間業者に売却されるのではという噂も広がったこともあって、同広場を体育施設からはずす条例修正案と売却を盛り込んだ新年度一般会計予算で活発な審査が行われました。

この結果、「西城スポーツ広場の売却をやめる」とした一般会計予算に関する修正案が市政クラブなど4党派から提案されました。予算を伴う修正案の提案は昨年の12月議会に続いて二度目です。これには私たちの議員団も賛成しました。同修正案は否決されましたが、「売却する場合は上越教育大学に限定する」とした付帯決議につながりました。また、新年度一般会計予算には15名もの反対者が出ました。

化していることなどの問題があります。

平成21年度上越市国民健康保険特別会計予算は、国民健康保険税について2年連続の大幅値上げを前提にした予算です。

同様に、平成21年度上越市介護保険特別会計予算および上越市介護保険条例の一部改正も、第4期介護保険事業計画に基づき、第1号被保険者の介護保険料を増額するものです。「負担あって介護なし」となりかねません。

平成21年度上越市後期高齢者医療特別会計予算については、制度廃止を求める立場から、この予算には反対です。

この「後期高齢者医療制度」は、75歳以上のすべての人を、それまで加入していた国保や健保を脱退させ、新設した「後期高齢者だけの独立保険」に強制的に入れ、保険料の年金からの天引きや医療が制限される包括払いの導入など、ひどい制度です。

なお、制度開始から一年が経過する3月末を迎え、保険証の取上げの点でも、重大事態が予想されます。

上越市体育施設条例の一部改正は、西城スポーツ広場（写真）の土地を売却し、市の財源を確保するため、同施設の供用を廃止する改正です。



この土地は、（高田師範誘致以来の）市民の思い入れの深い土地であり、市民の声を良く聞き、施設の有効活用の道を探るのが最も適当であると考えます。



【ネコノメソウ】湿地などで見かけます。下川谷で2日撮影。